



## 香川獅子舞

香川獅子舞は明治 36 年に香川県からの移住者が伝え、終戦直後まで活動していましたが、昭和 23 年の火災で道具類が焼失し、活動が途絶えてしまいました。

香川地区開拓 100 年を迎える平成元年までの復活を目指し、昭和 62 年に保存会を結成。平成元年に復活を果たし、現在まで続いています。

保存会会員は、香川地区住民 40 人で、会長は山田侑敬さん。現在の構成は、獅子 2 人、太鼓裏打ち 3 人、舞子表打ち 3 人、鉦（かね）1 人、薙刀持ち 1 人、団扇持ち 1 人、笛 3 人の計 14 人。

## 曙獅子舞

明治 22 年、洞爺湖畔の曙地区に香川県からの一行が入植し、このとき獅子舞が持ち込まれました。

そして、現在まで 121 年間ほぼ姿を変えずに継承されています。後継者不足が心配されたため、昭和 41 年に保存会が結成されました。地区の中学生の協力もあって、伝統の獅子舞は毎年踊られています。

保存会会員は、16 人で、会長は門馬政之さん。現在の構成は、獅子 2 人、太鼓裏打ち 3 人、舞子表打ち 3 人、鉦（かね）1 人、団扇持ち 1 人の計 10 人。



香川獅子舞保存会の皆さん



曙獅子舞保存会の皆さん